

令和4年度 酸性雨調査結果

1 調査方法

環境省の「酸性雨等調査マニュアル実施細則（平成3年1月1日公布 環境庁大気保全局大気規制課）」及び「湿性沈着モニタリング手引き書（第2版 平成13年）」により実施しました。

(1) 調査期間及び調査地点

(ア) 令和4年3月28日から令和5年3月27日までを1週間単位で計52週について測定

(イ) 金沢市保健所3階屋上（金沢市西念3丁目4-25）

(2) 測定項目及び測定方法

下表1に示します。

表1 測定項目及び測定方法の一覧

測定項目	単位	測定方法
pH	—	ガラス電極法
電気伝導度（EC）	$\mu S/cm$	白金電極法
陰イオン 5種 ① 硫酸イオン (SO_4^{2-}) ② 硝酸イオン (NO_3^-) ③ 亜硝酸イオン (NO_2^-) ④ 塩化物イオン (Cl^-) ⑤ フッ化物イオン (F^-)	mg/L	イオンクロマトグラフ法
陽イオン 5種 ① アンモニウムイオン (NH_4^+) ② カルシウムイオン (Ca^{2+}) ③ マグネシウムイオン (Mg^{2+}) ④ カリウムイオン (K^+) ⑤ ナトリウムイオン (Na^+)	mg/L	イオンクロマトグラフ法

2 調査結果

図1、2に示すとおり、降雨のあった48週の内、43週でpHを測定できた。さらに、28週でpHが5.6以下となり、降雨の多くが酸性雨に該当する結果となった。また、図3に示すとおり、pHの年平均(青線)は、5.19となり、昨年度の4.95から上昇した。

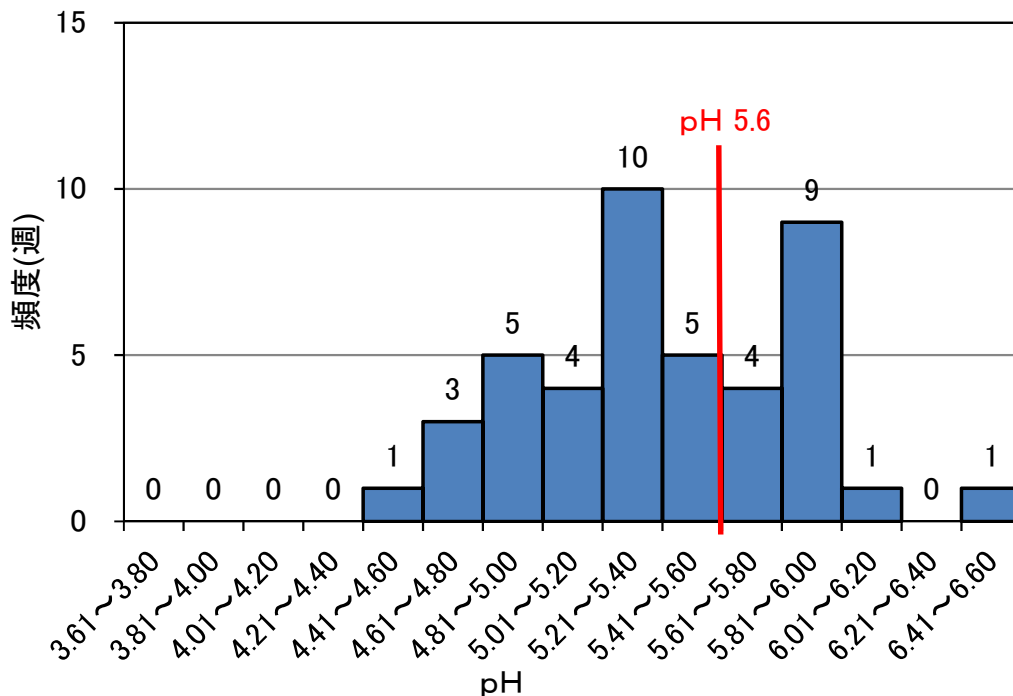


図1. pH測定結果の頻度分布

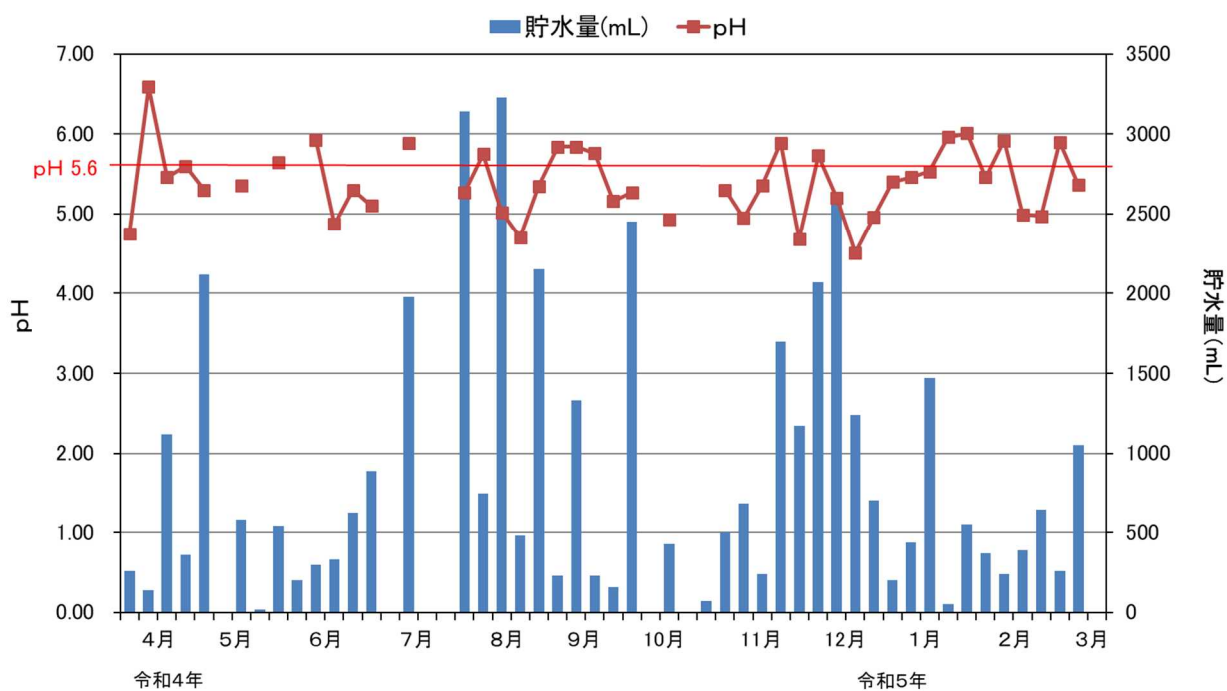


図2. pH及び貯水量の測定結果の経月変化

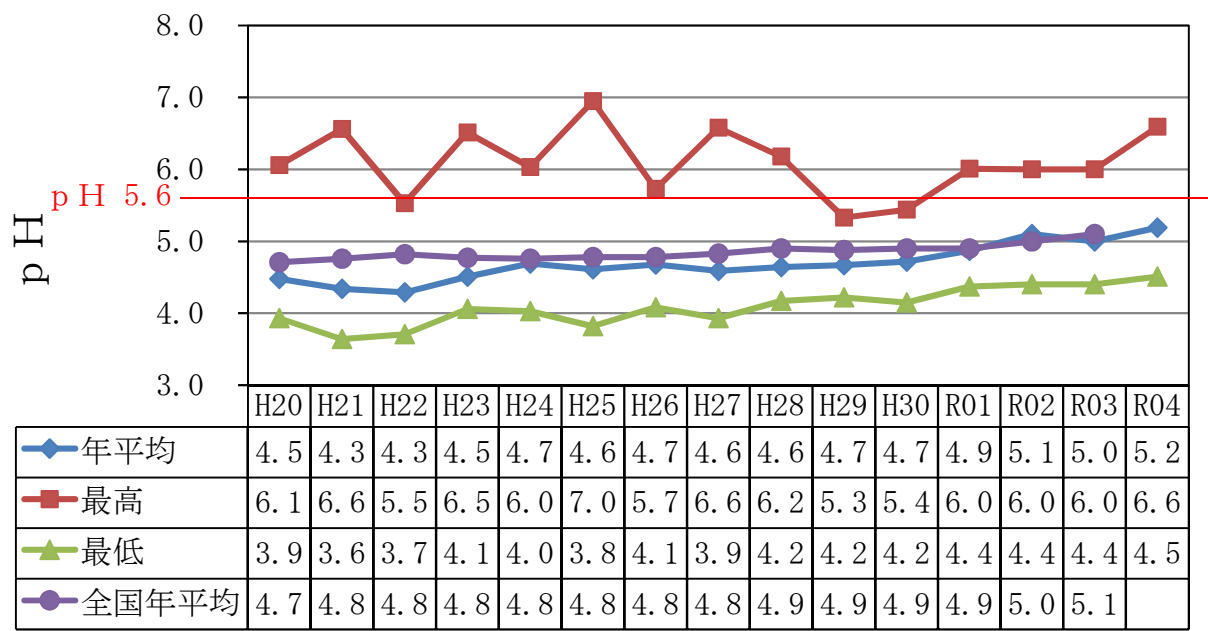


図3. pH測定結果の経年変化